

令和8年3月1日

白岡市議会議長 殿

令和4年白岡市立小学校いじめ重大事態行政対応に係る陳情書

陳情者

住所：[REDACTED]

氏名：[REDACTED]

連絡先：[REDACTED]

陳情の趣旨

白岡市立小学校で発生した令和4年のいじめ重大事態（第三者委員会調査報告書・令和5年6月16日付）に関し、市長・教育長・市議会議員2名に対し、現在全国的に炎上している面談音声記録について、議会として速やかに説明を求め、必要な調査を行うこと。

陳情の理由

1. 当該事案では、被害児童が金銭要求・陰口・机蹴り・筆箱隠し等のいじめを受け、PTSDを発症して転校を余儀なくされた。第三者委員会報告書は「学校及び教育委員会がいじめに対する十分な理解を欠いていた」と明確に指摘している。
2. 被害者保護者（Xアカウント @TIA27802717）が公開した面談音声（Part10～13など）では、以下の発言が記録され、2026年2月現在X上で数十万回以上拡散・全国報道されている。
3. 横松伸二教育長  
「お母さんが加害者を説得してくださいよ」「いじめは日本全国ずーっとなくならない」「戻るのは不可能ですね」
4. 藤井栄一郎市長  
「教育長の人権はどうなるの？」「法でやりましょう」
5. 加害者側に元市議親族の可能性が指摘され、議会関係者の関与疑惑も浮上している。議会がこれを放置すれば、教育行政全体の信頼が失墜する。

陳情事項（以下のすべてを、地方自治法に基づき議会として実行してください）

1. 市長（藤井栄一郎）及び教育長（横松伸二）に対し、上記音声記録の内容について議会（または教育民生常任委員会）で直接説明を求め、議事録を公開

- すること。(地方自治法第 124 条)
2. 市議会議員 ████████ 氏及び ████████ 氏に対し、当該事案への関与(相談受付・質疑妨害・SNS 投稿など)の有無と見解を議会で明らかにすること。(地方自治法第 124 条)
  3. 第三者委員会提言の履行状況を検証し、未履行部分の是正・被害児童への追加支援策を市長・教育長に勧告すること。(地方自治法第 124 条)
  4. 上記事案の全容解明と再発防止のため、地方自治法第 109 条(特別委員会の設置)及び同法第 100 条(調査権限の付与)並びに白岡市議会会議規則に基づき、「令和 4 年白岡市立小学校いじめ重大事態行政対応調査特別委員会」(必要に応じ百条調査権を付与)を速やかに設置し、市民・非住民からの意見聴取を実施すること。

### 陳情者の訴え

私は白岡市の住民ではありません。

しかし、2026 年 2 月 19 日以降に X 上で全国的に爆発的に拡散された面談音声記録を聞き、怒りと吐き気と絶望で体が震えました。これは単なる「不適切対応」などというレベルを超えた、子供の命を玩具にする極悪非道の犯罪行為です。

被害者家族(保護者本人・X アカウント@TIA27802717)のアカウントを分析したところ、その立場・状況・怒りはあまりにも深刻で理不尽です。

アカウントの Bio には「報告書の提言が守られません。いじめ後遺症で苦しむ本人を救うすべがあるのか。

誰も助けてくれない。理不尽。」とあり、令和 5 年 6 月の第三者委員会報告書から 2 年半以上経った今も、娘さんは PTSD の後遺症に苦しみ続け、学校に戻るところか日常すら奪われたまま、家族は完全に孤立して戦っています。

そして、毎日「シンクロシティ」シリーズで市議・市長・教育長の政治的つながりや個人情報漏洩疑惑、擁護工作を暴露し続け、「議員たちが私を相手にしない理由」「市長が連れてきた教育長=ニコイチ」「未来の被害者を生まない対応を質問したのに」と、行政の隠蔽体質を一つ一つ暴いています。

さらに、核心の怒りは、2 月 19 日に公開された音声そのものです。娘さんが  
過呼吸になりながら「学校に戻りたい」と命を削って泣きじゃくり、「簡単にわかったとか言ってほしくない。〇〇中で過ごせたはずの時間も埼玉で家族と過ごせたはずの時間も全部返してほしい」と絶望の叫びを上げた瞬間、横松伸二教育長は「お母さんが加害者を説得してくださいよ」「いじめは日本全国ずーっとなくなる」「戻るのは不可能ですね」と冷たく切り捨て、藤井栄一郎市長は「教育長の人権はどうなるの?」「法でやりましょう」と被害児童より行政側の保身を優先。返事は「ありがとね。」だけ。失われた時間は二度と戻らないのに、これが「子供たちの幸せを最優先に」と公言する白岡市の教育行政の答えなのです。

加えて、■■■■氏・■■■■氏の両市議は、加害者側との政治的つながり疑惑の中で相談を無視・質疑妨害・被害者家族を中傷（狼呼ばわりなど）し、組織的な隠蔽幫助に荷担していると家族は断罪しています。

このように、毎日投稿される怒りの声は「何もできないのが歯痒い」「市議会の皆さんで教育長を守っている」「誰も助けてくれない」という、底なしの絶望と激しい憤りそのものです。税金で子供を守るべき4人が、逆に子供の人権を踏みにじり、被害家族を孤独に追い込み、失われた時間を嘲笑うような態度を取っている——これは人権侵害の共犯、子供を犠牲にする人権テロリストの所業です。

非住民である私がここまで激しく糾弾するのは、税金で成り立つ自治体が全国の子供たちに与える悪影響を看過できないからです。こんな下劣で無能で冷酷な4人が子供の命を預かるなど、地獄の沙汰です。

白岡市議会よ、今すぐ目を覚ませ！

この4人の全責任を百条調査権で徹底追及し、特別調査委員会を即時設置せよ！音声の全容を公開議事録に刻み、腐敗した教育行政を根こそぎ断罪し、再発防止条例を制定し、被害児童への本気の救済を今すぐ実行せよ！これを怠れば、白岡市は「日本一子供の人権を踏みにじる最悪の腐敗自治体」として、永遠に全国から唾を吐きかけられる汚名を着ることになる。

非住民の一市民として、この4人に対して心の底から激しく、激しく非難し、糾弾し、断罪します。

この陳情が、白岡市の腐敗した教育行政を粉々に叩き潰す、決定的な一撃となりますよう、どうか真摯にご審議くださいますよう、強く、強く、強くお願い申し上げます。

以上

陳情者署名： \_\_\_\_\_

以上、地方自治法第 124 条に基づき陳情いたします。

陳情者署名：

[Redacted signature]

以上